

東日本大震災

大川小学校の悲劇と

釜石小学校の奇跡を考える

～犠牲者74名の大川小学校と犠牲者0名の釜石小学校～
命運を分けた決定的要因と未来への教訓。

ふつうの女性目線でこの事例から何が見えてくるか一緒に考えてみませんか？
誰でも気軽にご参加ください。



51分かけて180メートルしか進めなかった大川小学校

東日本大震災において、宮城県石巻市立大川小学校では、地震発生後の津波警報や、また児童を引き取りに来た保護者から避難を呼びかけられたにもかかわらず、教員らの判断で避難を開始しませんでした。

避難開始は地震発生から50分後。すでに川からは水が溢れていたのです。狭い道を進み、移動途中で行き止まりとなり、避難先の変更が余儀なくされました。そして、避難先を変更しようとしたその矢先に川から波の壁が押し寄せ、慌てて引き返した場所は、最も狭く、斜面も急な場所でした。犠牲者は74名でした。

一方、岩手県の釜石市立釜石小学校は、下校後の子供たち全員が無事でした。これは奇跡ではありません。教育委員会の英断と住民目線の防災計画や避難訓練への積極的な参加が、危険に直面した子供たちに自ら判断し行動する勇気を与えた結果でした。

今地震が起きたら、私たちは、また子供たちは、自ら命を守ることができるでしょうか。悲劇を起こさないために、過去の事例を通じて考えてみませんか・・・茅ヶ崎の現状はどちらに近いのでしょうか？

「マザーアース茅ヶ崎」とは「守りたい」と思うかけがえのない何かを持った女性たちの「思いを寄せ合う場」として、集い・話し合い・行動する、を目的とするコミュニティです。そのため、取り上げるテーマは参加者の自由です。住民である皆様が身近に感じる疑問や不安について自由に議論し、その問題が解決できるように行動することを目指します。特に茅ヶ崎は、クラスター火災や津波など地震の二次災の危険性が高いため、マザーアース茅ヶ崎では重要なテーマの一つだと考えています。

日時：9月16（日）11:00～14:00

テーマ：「防災LOVE ACTION みんなでつくろう！話そう！新しい防災」

「女性目線での大川小学校と釜石を検証する」

場所：茅ヶ崎ラスカ 6階大ホール

※男性サポーター、乳幼児連れのお母様大歓迎です。

【主催】 愛でつながる女性達「マザーアース茅ヶ崎」

問い合わせ先 事務局：山田090-3236-6285

Mail: mother_earth@aroma.co.jp

「マザーアース」で検索してください。

LINE@

